

平成29年度 清原中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1) 基本目標

①活力ある生徒 ②よく考え、創造する生徒 ③豊かな心を持ち、思いやりのある生徒

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

①頑張る人 ②考える人 思いやりのある人

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

豊かな心と健やかな身体をもち、社会の変化に主体的に関われる能力や創造力を培い、自らの向上とより良い社会の発展を目指し、国際社会に生きる人間性豊かでたくましく生きる生徒を育成する。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 教職員の和を基調とし、「教師が変われば、生徒も変わる」を信条に、師弟同行の実践を踏まえ、「生徒を前面に出し、見守り・見届ける」生徒指導に徹する。
- (2) 知・徳・体の調和を図り、各教科等において基礎・基本、体験的な学習や課題学習、個に応じた指導を重視し、自ら学ぶ態度を育成する。
- (3) 道徳教育・人権教育・国際理解教育の充実と各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の特質に応じた指導の深化を図り、生徒の活力を醸成する。
- (4) ○ 一人ひとりの生徒が自己の特性について理解を深め、進路に関する情報を収集・活用し自らの生き方を探求するとともに、進路の選択・決定が出来るよう、家庭・学校・地域社会との連携を密にしながら、指導・支援に努める。
- (5) 緑に恵まれた環境を生かし、思いやりや助け合う心を育て、特色ある学校づくりに努める。

【清原地域学校園教育ビジョン】

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて主体的に取り組む児童生徒の育成
～キャリア教育（生き方）を核として～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

「思いやりを持ち、認め合い、助け合いながら良好な人間関係を築ける生徒の育成」

(2) 学習指導

○「国語科，算数・数学科，会話・英語科を中心として，9年間の指導の系統性を生かした表現力の育成を図る」

「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と根気強く学習に取り組む生徒の育成」

(3) 児童生徒指導

「基本的生活習慣の定着」

○「ふわふわ言葉（やさしい言葉）の推進・ちくちく言葉（人を傷つける言葉）の禁止」

(4) 健康（保健安全・食育）・体力

○「健康教育及び安全教育を推進し，心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成を図る」

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」 ⇒ 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 93%以上 住民の肯定的回答 99%以上 生徒の肯定的回答 88%以上</p>	<p>① 学校行事では、生徒会活動を中心に生徒の自発的・自治的活動を取り入れて、指導に当たる。</p> <p>② 生徒及び教職員が互いのこころを認め合えるような協働的な活動を取り入れる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>教職員の肯定的回答</td> <td>84.8% (-10.7)</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答</td> <td>92.4% (-0.7)</td> </tr> <tr> <td>住民の肯定的回答</td> <td>100.0% (+0.9)</td> </tr> <tr> <td>生徒の肯定的回答</td> <td>79.9% (-8.8)</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>教師、生徒とも肯定的な回答が大きく低下している。次年度は教師からの積極的なあいさつをさらに進め、学校全体が明るい雰囲気になるように努める。</p> <p>市の平均を上回ることができるよう学びに向かう学級づくりをしていく。</p>	教職員の肯定的回答	84.8% (-10.7)	保護者の肯定的回答	92.4% (-0.7)	住民の肯定的回答	100.0% (+0.9)	生徒の肯定的回答	79.9% (-8.8)
	教職員の肯定的回答	84.8% (-10.7)										
	保護者の肯定的回答	92.4% (-0.7)										
住民の肯定的回答	100.0% (+0.9)											
生徒の肯定的回答	79.9% (-8.8)											
<p>A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「教職員は協力して、生徒の良いところを認め、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒ 教職員の肯定的回答 96%以上 保護者の肯定的回答 83%以上 住民の肯定的回答 98%以上 生徒の肯定的回答 93%以上</p>	<p>① 学習や活動のねらいを明確にし、授業の中で、出来た喜びや成就感を体得できる場や機会を意図的に設け、意欲の育成を図る。</p> <p>② 学習や活動のねらいを明確にし、授業の中で、できた喜びや成就感を体得できる場や機会を意図的に設け、意欲の育成を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>教職員の肯定的回答</td> <td>87.0% (-9.0)</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答</td> <td>81.7% (-1.3)</td> </tr> <tr> <td>住民の肯定的回答</td> <td>90.0% (-9.0)</td> </tr> <tr> <td>生徒の肯定的回答</td> <td>89.6% (-3.4)</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>4者すべての肯定的回答が市の平均を下回っている状況なので、引き続き教員の授業力向上及び生徒の学力向上に重点を置く。</p>	教職員の肯定的回答	87.0% (-9.0)	保護者の肯定的回答	81.7% (-1.3)	住民の肯定的回答	90.0% (-9.0)	生徒の肯定的回答	89.6% (-3.4)	
教職員の肯定的回答	87.0% (-9.0)											
保護者の肯定的回答	81.7% (-1.3)											
住民の肯定的回答	90.0% (-9.0)											
生徒の肯定的回答	89.6% (-3.4)											
<p>A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 教職員の肯定的回答 87%以上 生徒の肯定的回答 89%以上 保護者の肯定的回答 97%以上 住民の肯定的回答 86%以上</p>	<p>① 地域学校園共通の考え方としての「学校は公的な場である」を理解させることで、決まりやマナーを自主的に守る態度を身につけさせる。</p> <p>② 「中央委員」や「学年委員会」の活動を活性化し、生徒の自主的な活動を通して、自分の役割を果たすことやルールを守ることの大切さを理解させ、基本的な生活習慣の徹底を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>教職員の肯定的回答</td> <td>58.7% (-28.7)</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答</td> <td>76.7% (-12.5)</td> </tr> <tr> <td>住民の肯定的回答</td> <td>81.8% (-15.2)</td> </tr> <tr> <td>生徒の肯定的回答</td> <td>73.0% (-13.0)</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>教師の肯定的な回答が大きく下回っている。ルールをはっきりさせ、教師が共通理解のもとルールを守らせていく。</p> <p>生徒会役員や学年委員でルールについて話し合いをしていく。</p>	教職員の肯定的回答	58.7% (-28.7)	保護者の肯定的回答	76.7% (-12.5)	住民の肯定的回答	81.8% (-15.2)	生徒の肯定的回答	73.0% (-13.0)	
教職員の肯定的回答	58.7% (-28.7)											
保護者の肯定的回答	76.7% (-12.5)											
住民の肯定的回答	81.8% (-15.2)											
生徒の肯定的回答	73.0% (-13.0)											

<p>A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」⇒</p> <p>教職員の肯定的回答 96%以上 保護者の肯定的回答 71%以上 住民の肯定的回答 96%以上 生徒の肯定的回答 87%以上</p>	<p>① 授業の中で、「めあて(本時の目標)」を明確にするとともに、「振り返り」を行うことで、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>② グループなどの学習形態や協働学習を工夫しながら問題解決的な学習を展開するとともに、基本的な学習態度や技能の徹底を図り、自主的な学習が進められるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 89.1% (-6.9) 保護者の肯定的回答 64.9% (-6.1) 住民の肯定的回答 85.7% (-10.3) 生徒の肯定的回答 80.6% (-6.4)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>数値目標については4者とも達成されておらず、特に住民の回答は目標値との開きが大きい。</p> <p>生徒に達成感をもたせるよう努力をしていく必要がある。そのために、授業の見直しを持たせるよう「めあて・ふりかえり」を徹底する。「ふりかえり」では、その日の授業の内容の理解を見とる簡単な問題を行うなど、生徒が「わかった」と思えるような工夫をしていきたい。</p>
<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。」</p> <p>教職員の肯定的回答 96%以上 保護者の肯定的回答 68%以上 住民の肯定的回答 93%以上 生徒の肯定的回答 94%以上</p>	<p>① 道徳や特別活動、総合的な学習の時間において、いじめについて考えさせたり、話し合う活動をさせる。</p> <p>② 朝会や学年集会において、いじめの根絶に向けた取り組みを行う。</p> <p>③ 保護者会や学校・学年だよりなどで、いじめについて取り上げ、その根絶に向けた取り組みを保護者や地域にも発信する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 89.1% (-7.2) 保護者の肯定的回答 57.1% (-11.5) 住民の肯定的回答 75.0% (-18.1) 生徒の肯定的回答 87.1% (-7.1)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>いじめ対策の取組はおこなっているので、保護者や地域住民に HP などで発信していく必要がある。</p> <p>未然防止の観点から道徳や特別活動、総合的な学習の時間などにおいて話し合い活動を充実させていき、いじめの起こりにくい学級づくりを行う。</p> <p>いじめの早期発見、早期対応で取り組んでいく。</p>
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「学校の日課、授業、行事などの教育課程は、適切に実施されている」⇒</p> <p>教職員の肯定的回答 96%以上 保護者の肯定的回答 96%以上 住民の肯定的回答 99%以上 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 年間を見通して、メリハリのある学校行事の位置づけを行い、生徒が意欲的に活動できるよう、指導の工夫を図る。</p> <p>② 生徒の実態に即した年間指導計画を作成して、着実に実行できるようにするとともに、諸活動の評価や反省を次年度に生かすようにする。</p> <p>③ 業時数の確保に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 93.3% (-2.7) 保護者の肯定的回答 96.6% (+0.6) 住民の肯定的回答 88.9% (-10.1) 生徒の肯定的回答 84.6% (-5.4)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>住民の理解が得られるよう各会議や部会、主任会等の連絡を密にして、円滑な教育課程の実施を努める。生徒に対しては、特に短期的・長期的な計画を理解できるような伝達方法や視覚的な方法を利用した掲示物などを工夫する。</p>

<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒ 教職員の肯定的回答 97%以上 保護者の肯定的回答 93%以上 住民の肯定的回答 98%以上</p>	<p>① 年間を通して学校公開を積極的に推進する。</p> <p>② 個人情報保護を厳守の上、各種便りやHPの内容をさらに充実させ、公開を積極的に推進する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 93.5% (-3.5) 保護者の肯定的回答 94.3% (+1.3) 住民の肯定的回答 98.0% (±0.0)</p> <p>【次年度の方針】 保護者及び地域住民の肯定的回答は、概ね良好と判断できるので、引き続き積極的に開かれた学校づくりを意識しながら情報発信をしていく。</p>
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒ 教職員の肯定的回答 96%以上 保護者の肯定的回答 88%以上 住民の肯定的回答 97%以上 生徒の肯定的回答 84%以上</p>	<p>① 地域コーディネーターに必要な学校支援ボランティアを依頼し協力を得るなど「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効活用して、学校運営の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 91.3% (-4.7) 保護者の肯定的回答 89.9% (-0.1) 住民の肯定的回答 90.9% (+0.9) 生徒の肯定的回答 79.1% (+1.9)</p> <p>【次年度の方針】 学習支援ボランティアの募集を全校生徒に伝え、ボランティアの支援を受ける体験をすることで、地域の中の学校として存在意義を感じるようにする。</p>
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」 ⇒ 教職員の肯定的回答 77%以上 保護者の肯定的回答 91%以上 住民の肯定的回答 95%以上 生徒の肯定的回答 88%以上</p>	<p>① 教師による清掃指導を徹底し、美化委員会を中心に「きれいな学校づくり」を啓発して、より良い環境づくりに努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 57.8% (-19.7) 保護者の肯定的回答 88.3% (-3.4) 住民の肯定的回答 87.5% (-7.7) 生徒の肯定的回答 79.5% (-9.0)</p> <p>【次年度の方針】 教職員の肯定的回答において、市平均と比較して約 20%低い結果となった。引き続き、教師による清掃指導を徹底するとともに、清掃分担を細分化して生徒がより主体的に清掃に取り組めるようにしたい。また、美化委員会が中心となり、荷物や備品などを整理整頓し、学習環境の整備に努めるように促したい。清掃用具の準備・保管・補充については、定期的に点検を行う必要がある。</p>

	<p>A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「学校は、小学生や中学生が連携した取り組みを主体的に行っている」</p> <p>⇒ 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 90%以上 住民の肯定的回答 90%以上 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学校園の小中全教員が乗り入れ授業を経験できる環境を整える。</p> <p>② 中1ギャップの解消のために、小中の連携に留まらず、児童たちの小・小連携の機会を作る。</p> <p>③ 中学生が小学校へ出向いて、あいさつ運動をすることにより、小学生と中学生の交流を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>教職員の肯定的回答</td> <td>88.9% (-1.1)</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答</td> <td>89.9% (-0.1)</td> </tr> <tr> <td>住民の肯定的回答</td> <td>90.9% (+0.9)</td> </tr> <tr> <td>生徒の肯定的回答</td> <td>79.1% (+1.9)</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】 生徒の肯定的回答において、市平均と比較して約2%高い結果となっている。現在の目標設定で十分満たされていると考えられる。現在行われている内容をさらに高めていくことが必要である。</p>	教職員の肯定的回答	88.9% (-1.1)	保護者の肯定的回答	89.9% (-0.1)	住民の肯定的回答	90.9% (+0.9)	生徒の肯定的回答	79.1% (+1.9)
教職員の肯定的回答	88.9% (-1.1)										
保護者の肯定的回答	89.9% (-0.1)										
住民の肯定的回答	90.9% (+0.9)										
生徒の肯定的回答	79.1% (+1.9)										
教育活動の状況	<p>A11 生徒は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」</p> <p>教職員の肯定的回答 82%以上 保護者の肯定的回答 81%以上 住民の肯定的回答 93%以上 生徒の肯定的回答 93%以上</p>	<p>① 生徒会を中心とした、あいさつ運動を実施する。</p> <p>② 学級における朝のあいさつ、授業開始時・終了時のあいさつを徹底する。</p> <p>③ 全校生徒の当番制によるあいさつ運動を展開する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>教職員の肯定的回答</td> <td>58.7% (-23.8)</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答</td> <td>73.6% (-7.9)</td> </tr> <tr> <td>住民の肯定的回答</td> <td>81.8% (-11.2)</td> </tr> <tr> <td>生徒の肯定的回答</td> <td>83.5% (-9.7)</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】 教職員、住民の肯定的回答が下回っている。教員から積極的にあいさつするようにする。生徒会の取組として学校園のあいさつ運動を行う。</p>	教職員の肯定的回答	58.7% (-23.8)	保護者の肯定的回答	73.6% (-7.9)	住民の肯定的回答	81.8% (-11.2)	生徒の肯定的回答	83.5% (-9.7)
	教職員の肯定的回答	58.7% (-23.8)									
保護者の肯定的回答	73.6% (-7.9)										
住民の肯定的回答	81.8% (-11.2)										
生徒の肯定的回答	83.5% (-9.7)										
<p>A12 生徒は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「生徒は、時と場に応じた言葉づかいをしている」</p> <p>⇒ 教職員の肯定的 78%以上 保護者の肯定的回 81%以上 住民の肯定的回答 93%以上 生徒の肯定的目標 87%以上</p>	<p>① 授業中の発言や質問の時に、正しい言葉づかいができるように指導し、できていない場合は言い直させる。</p> <p>② 普段の会話の中で、「親しい中にも礼儀あり」を守り、教員も生徒も正しい言葉遣いで話をするようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>教職員の肯定的回答</td> <td>41.3% (-36.7)</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答</td> <td>71.7% (-9.7)</td> </tr> <tr> <td>住民の肯定的回答</td> <td>90.9% (-2.4)</td> </tr> <tr> <td>生徒の肯定的回答</td> <td>68.8% (-18.7)</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】 教師、生徒の肯定的回答が大きく下回っている。教師の不適切な言葉遣いが生徒に悪影響を与えている場合がある。学校園全体の取組として「やさしい言葉」を使っていこうとしているので、継続して取り組むようにしていく。</p>	教職員の肯定的回答	41.3% (-36.7)	保護者の肯定的回答	71.7% (-9.7)	住民の肯定的回答	90.9% (-2.4)	生徒の肯定的回答	68.8% (-18.7)	
教職員の肯定的回答	41.3% (-36.7)										
保護者の肯定的回答	71.7% (-9.7)										
住民の肯定的回答	90.9% (-2.4)										
生徒の肯定的回答	68.8% (-18.7)										

健康・体力	<p>A13 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「生徒は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」 ⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 77%以上 住民の肯定的回答 91%以上 生徒の肯定的回答 78%以上</p>	<p>① 授業開始時の準備運動・導入運動に積極的に取り組ませる。</p> <p>② 授業中の運動量を確保し、意欲的に取り組むことのできる授業の展開をめざす。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>教職員の肯定的回答</td> <td>75.6% (-5.1)</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答</td> <td>72.0% (-5.5)</td> </tr> <tr> <td>住民の肯定的回答</td> <td>88.9% (-2.9)</td> </tr> <tr> <td>生徒の肯定的回答</td> <td>71.7% (-6.7)</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】 すべての対象において、市平均と比較するとやや低い結果となった。授業を通して運動に親しみ、健康を保持増進し、さらに体力の向上を図れるようにするとともに、昼休みに体育館を開放し、休み時間に積極的に運動できる機会を設けたい。</p>	教職員の肯定的回答	75.6% (-5.1)	保護者の肯定的回答	72.0% (-5.5)	住民の肯定的回答	88.9% (-2.9)	生徒の肯定的回答	71.7% (-6.7)
	教職員の肯定的回答	75.6% (-5.1)									
保護者の肯定的回答	72.0% (-5.5)										
住民の肯定的回答	88.9% (-2.9)										
生徒の肯定的回答	71.7% (-6.7)										
<p>A14 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「生徒は、好き嫌いなく給食を食べている」 ⇒ 教職員の肯定的回答 73%以上 保護者の肯定的回答 76%以上 生徒の肯定的回答 78%以上</p>	<p>① 保健だより・給食だよりを定期的に発行し、生徒・保護者へ食育や健康の重要性について啓発したり、朝食に関する強調週間を設けたりして食生活に対する意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>教職員の肯定的回答</td> <td>56.5% (-16.7)</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答</td> <td>71.9% (-4.4)</td> </tr> <tr> <td>生徒の肯定的回答</td> <td>71.5% (-6.5)</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】 現状として食べ物の好き嫌いがある生徒がいるため、教職員の肯定的回答が低い結果になったと考えられる。保健だより・給食だよりを定期的に発行し、生徒・保護者へ健康や食育の重要性について啓発するとともに、「朝ごはん食べよう週間」やランチルーム給食を実施し、食への意識を高めさせたい。また、残食調査の結果を提示し、好き嫌いなく給食を食べるように働きかけていきたい。</p>	教職員の肯定的回答	56.5% (-16.7)	保護者の肯定的回答	71.9% (-4.4)	生徒の肯定的回答	71.5% (-6.5)			
教職員の肯定的回答	56.5% (-16.7)										
保護者の肯定的回答	71.9% (-4.4)										
生徒の肯定的回答	71.5% (-6.5)										
学習	<p>A15 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「生徒は、授業中に進んで話し合い、わかりやすく発表するなど、積極的に学習している」 ⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 79%以上 住民の肯定的回答 94%以上 生徒の肯定的回答 86%以上</p>	<p>① 話の聞き方、発表の仕方、ノートを取り方など基本的な学習態度の定着を図る。</p> <p>② 「朝の読書」を継続して実施するとともに、「図書だより」等での読書推進の啓蒙と魅力ある学校図書館づくりに努める。</p> <p>③ 護国会や学級懇談会、定期教育相談等で家庭学習の必要性や学習の仕方・時間の目安等の指導や呼びかけを行い、習慣化を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>教職員の肯定的回答</td> <td>50.0% (-30)</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答</td> <td>70.6% (-8.4)</td> </tr> <tr> <td>住民の肯定的回答</td> <td>80.0% (-14.0)</td> </tr> <tr> <td>生徒の肯定的回答</td> <td>76.4% (-9.6)</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】 数値目標については4者とも達成されておらず、特に教職員の回答は目標値との開きが大きい。教職員の意識や期待が生徒の実態より高いためと思われる。態度の育成について、校内研修等で改善策を検討したい。特に基本的な学習態度の定着については、話し合いの手順や発表の仕方などを含めた学習のきまりの指導を行い、生徒にも共通理解させていきたい。また、小グループなどで生徒が話し合いをする場面を意図的に設定するなど学習形態を工夫していきたい。 「朝の読書」の徹底を図るため、巡回図書や学級文庫をさらに精選・充実させていきたい。</p>	教職員の肯定的回答	50.0% (-30)	保護者の肯定的回答	70.6% (-8.4)	住民の肯定的回答	80.0% (-14.0)	生徒の肯定的回答	76.4% (-9.6)
教職員の肯定的回答	50.0% (-30)										
保護者の肯定的回答	70.6% (-8.4)										
住民の肯定的回答	80.0% (-14.0)										
生徒の肯定的回答	76.4% (-9.6)										

<p>A16 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】(市平均を目指す) 全体アンケート「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒ 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 86%以上 住民の肯定的回答 96%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 休み時間に廊下での巡回指導を行い、チャイム着席を徹底し落ち着いた授業が開始できるようにする。</p> <p>② 学習のきまりを周知させるとともに、本時のねらいを明確にしたり教材を工夫したりするなど、授業に集中させるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 64.4% (-25.6) 保護者の肯定的回答 75.3% (-10.7) 住民の肯定的回答 66.7% (-29.3) 生徒の肯定的回答 65.7% (-14.3)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>数値目標については4者とも達成されておらず、特に住民の回答は目標値との開きが大きい。</p> <p>授業者が早く教室に向かう、休み時間に巡回してチャイム3分前着席を生徒に呼びかけるなど授業がスムーズに始められるような手立てを継続・徹底させていきたい。</p> <p>生徒には授業の始めに1時間の流れを示し、見通しをもって授業に臨めるような工夫を心掛けていきたい。</p>
<p>B7 自主的な学習の進め方ができる。</p> <p>【数値指標】(前年を上回る) 全体アンケート「教職員・先生は適切に課題を出している」 ⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 自主学習ノートの提出をさせ、点検を学年ごとにしっかりと行う。</p> <p>② 自主学習の仕方等を各教科の授業の中で説明し、勉強の仕方を指導する。</p> <p>③ 参考となる自主学習ノートの展示を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 84.8%(+4.8) 保護者の肯定的回答 73.6% (-6.4) 生徒の肯定的回答 84.9% (+4.9)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>教職員・生徒は目標値に達しているが、保護者は達していない。今年度から自主学習ノートの提出を週4日行っているが、その内容などが保護者に周知されていないためと思われる。今後はさらに、自主学習ノートへの保護者によるコメント記入などの協力を仰いでいく。</p> <p>また、授業のふりかえりの際に授業のポイントとして復習(家庭学習)のやり方を示すなど、生徒が取り組みやすくなるような工夫をしていきたい。</p>
<p>本校の特色・課題等</p> <p>B1 教職員は、恵まれた環境を生かして、クリーン活動や清掃・奉仕活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】(前年を上回る) ⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 住民の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 総合の時間を利用したクリーン活動を学期に1回ずつ実施する。</p> <p>② クリーン活動は、校内にとどまらず地域に範囲を広げることで、地域貢献(奉仕)の意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 67.4% (-12.6) 保護者の肯定的回答 83.7% (+3.7) 住民の肯定的回答 100.0% (+20.0) 生徒の肯定的回答 84.8% (+4.8)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>今年度実施したクリーン活動では、地域の方から感謝や労いの言葉をいただき、意欲的に活動できたようである。引き続きクリーン活動を実施し、校内だけでなく、地域の清掃を行うことで環境美化及び地域貢献の意識を高めさせたい。</p>

<p>B2 「教職員は、いろいろな場面で、生徒の良いところを認め、ほめたりしている」</p> <p>【数値指標】(前年を上回る)</p> <p>⇒</p> <p>教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 総合的な学習の時間や授業の中の発表の機会を通して、成果を認める。</p> <p>② 運動会、文化祭、修学旅行等の学校・学年行事の振り返りワークシートで生徒の良さを見出し、賞賛する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 91.3% (+11.3) 保護者の肯定的回答 78.1% (-1.9) 住民の肯定的回答 100% (+20.0) 生徒の肯定的回答 85.5% (+5.5)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>生徒が活躍する場面を意図的に作り、積極的にほめ認めていく。 校長室便りや学級通信で積極的に保護者に情報発信していく。</p>
<p>B3 「教職員は、生徒同士が互いに認め合ったり、ほめたりする環境づくりに心がけている」</p> <p>【数値指標】(前年を上回る)</p> <p>⇒</p> <p>教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 住民の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 行事等の振り返りワークシートの中に、他の生徒の取組を認める項目を設けたり、展示したりして、生徒同士の意識を高める。</p> <p>② 少年の主張作文や百人一首大会、立志式等を通して、他者の考えに触れさせ、尊重する意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 91.3% (+11.3) 保護者の肯定的回答 78.1% (-1.9) 住民の肯定的回答 100% (+20.0) 生徒の肯定的回答 80.6% (+0.6)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>教師、住民の肯定的回答が高い。保護者の肯定的な回答がわずかに低いので、積極的に発信していく必要がある。 学びに向かう学級づくりを意識して、自己有用感を持てるような場面を意図的につくる。</p>
<p>B4 「生徒は、さつまいも作りなど、学校農園での活動に積極的に取り組んでいる」</p> <p>【数値指標】(前年を上回る)</p> <p>⇒</p> <p>教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 住民の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① サツマイモの苗植えから収穫までを、総合の時間を利用して行う。</p> <p>② 収穫したサツマイモは、給食の食材として利用し、食育の一環とする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 84.8% (+4.8) 保護者の肯定的回答 83.9% (+3.9) 住民の肯定的回答 88.9% (+8.9) 生徒の肯定的回答 85.8% (+5.8)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>サツマイモについては苗植えと収穫のみを行っている。除草作業を計画的に行う必要がある。</p>
<p>B5 教職員は、生徒が地域の行事などに進んで参加することを励行している。</p> <p>全体アンケート「教職員は、生徒が地域の行事などに進んで参加することを励行している」</p> <p>【数値指標】(前年を上回る)</p> <p>⇒</p> <p>教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 年間を通して、地域のお祭りやイベントに部活動単位でボランティアとして参加することで、地域貢献への意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 87.0% (+7) 保護者の肯定的回答 67.0% (-13) 住民の肯定的回答 100.0% (+20.0) 生徒の肯定的回答 74.0% (-6)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>生徒の肯定的回答が低いことにより、年間を通して、地域のお祭りやイベントに部活動単位でボランティアとして参加することで、地域貢献への意識を高める。</p>

<p>B6 教職員は、生徒が安全に登下校できるように、交通ルールやマナーを指導している。</p> <p>【数値指標】(前年を上回る)</p> <p>⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 住民の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 年2回の交通安全教室を実施し、交通安全への意識を高める。</p> <p>② 毎月1回の登校指導を実施し、生徒の通学状況及び危険箇所を把握し、生徒への指導に生かす。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 84.8% (+4.8) 保護者の肯定的回答 67.3% (-12.7) 住民の肯定的回答 80.0% (±0) 生徒の肯定的回答 87.5% (+7.5)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>交通ルールやマナーを遵守できていない生徒がいるため保護者の肯定的回答が低い結果となったと考えられる。引き続き、交通安全教室や登校指導を通して交通ルールやマナーの指導を行うとともに、家庭や地域と連携を図り、交通安全に関する指導の充実を図りたい。</p>
<p>B8 教職員は、給食後に歯みがきを積極的に呼びかけている。</p> <p>【数値指標】(前年を上回る)</p> <p>⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 保健だよりや給食だよりを発行し、食育と絡めた健康教育を推進するとともに、学級担任からは、歯磨きの励行を呼びかける。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 76.1% (-3.9) 生徒の肯定的回答 90.8% (+10.8)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>給食後の歯みがきが習慣付いている生徒が多いため、教職員の肯定的回答が低い結果となったと考えられる。歯と口の健康教育を推進するために、引き続き教職員が給食後の歯みがきを呼びかけるとともに、保健体育委員会において歯のみがき方について啓発することが必要である。</p>
<p>B9 「教職員は、生徒が学級や小集団の中で、その一員としての役割を果たすように適切な支援を行っている。</p> <p>【数値指標】(前年を上回る)</p> <p>⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 生徒それぞれの特性を生かした学級組織や生徒会各種委員会への所属と活動を通して、自己有用感を高める指導を行う。</p> <p>② 学校行事等を通して、生徒が互いに励ましあい、認め合えるような学級経営を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 91.3% (+11.3) 生徒の肯定的回答 81.8% (+1.8)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>教師の肯定的な回答が高い。小グループでの活動を充実させていく。 普段の授業を始めすべての教育活動を通して「言語活動の充実」を意識した教育活動を行っていく。</p>
<p>B10 教職員は、生徒が自己理解をしたり、将来の進路を選択したりできるように、適切な支援を行っている。</p> <p>【数値指標】(前年を上回る)</p> <p>⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 働く人へのインタビューを行い、将来の生き方について考える機会を持たせる。</p> <p>② 社会体験学習を通して、自己を見つめさせ、適性を生かした進路について考えさせる。</p> <p>③ 教育相談や進路相談を通して、将来の目標に向けてのアドバイスをを行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 95.7% 生徒の肯定的回答 81.8%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>教員及び生徒の肯定的回答は、共に目標には達しているものの、教員と生徒の意識に隔たりが有るのものはっきりした。今後は、生徒の意識の向上を目指して、キャリア教育を核として教育活動に取り組む。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

生徒は諸教育活動に積極的に取り組み、明るく元気に学校生活を送っている。生徒へのアンケートでは9割以上が「学校が好き」「学校生活や様々な活動は充実している」と回答している。しかし、昨年同様、教職員の肯定的回答が下がっている項目が多いことから、実態を適切にとらえて指導の改善を図らなければならない。特に、肯定的回答の割合が低い項目は、「生徒のあいさつや言葉遣い」「清掃や整理整頓」「積極的な学習態度」等であり、本校生徒の課題となっているものである。保護者の回答では本校で取り組んでいる、教員の分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導やいじめ対策への評価が他の項目と比較して著しく低く、学校の取組が保護者に理解されていない現状が見られる。地域住民の回答でも、学習面とイじめに対する項目では評価が低いことから、より一層の指導の充実を図っていく必要がある。本校生徒の課題が多く浮かび上がってきたアンケート結果であるが、来年度も、「学力の向上」「いじめ対策」にはより一層力を入れ、指導の改善を図っていききたい。学校だけの取組では効果が上がらない項目や内容もあるので、家庭・地域・学校園各小学校との連携を図り、問題意識を共有して取り組んでいきたい。今後も、生徒のよりよい成長につながるような教育活動を積極的に推進していききたい。

6 学校関係者評価

- ・保護者や地域住民の学校運営に対して参画していることが感じられる。
 - ・子供たちのマナーや言葉遣いについては、生徒、保護者、教職員との回答に差があり、これは子どもたちの目線で見えていないのであり、教職員という立場で判断しているからではないだろうか。
 - ・教職員は生徒に対して勉強や学校生活全般に対して希望を含めもっと高いレベルのものを要求している。これは先生方の生徒たちへの指導の熱意の表れと思われる。しかし、生徒たちは教職員の熱意ほどにはそれを強くとらえておらず、清原地区の生徒ののんびり、大らかさの反映と受け止められる。
 - ・朝の読書の時間は落ち着いて取り組んでいる様子を感じられ、学校生活の一日のスタートがスムーズに行われているようで、良い取組である。
 - ・学校だけではできないことを地域や保護者に協力していただき、いつでも学校が身近に感じられることが大切である。
 - ・各行事の時に恥ずかしくない態度、マナーをしっかりと身に着けていることは大切なことなので、この点はしっかりと指導を入れる必要がある。
 - ・生徒が興味をわくような授業内容を学校、教職員が工夫しなければならない。
 - ・目標や方針に沿った具体的な取り組みを示す必要がある。
 - ・自主的な学習の進め方であるが、生徒、保護者、教職員ととらえ方に格差がある。子どもたち一人ひとりに対して、学習意欲をどのように常に持たせるか具体的にどうするのかをはっきりさせる必要がある。
 - ・清原の杜の整備が生徒や教職員はもちろん、地域協議会の方々も取り組まれ、落ち着いた潤いのある環境となっているこのことが生徒の心によい影響を与えていることは間違いない。樹木に名札がつけられたり、生徒がブルーベリーを収穫したりと清原中学校ならではの取組を大切にしなければならない。
 - ・学校教育目標の達成を図るため、校長の強いリーダーシップの下、全職員が一丸となって取り組み、保護者が強く願う生徒一人ひとりの学力保障には、教職員の工夫と熱意が不可欠である。
- ◎生徒は地域の行事に進んで参加しているか、クリーン活動等で地域住民と共に触れ合って活動に参加しているか、学校は地域に対して積極的に情報発信をしているか等の設問では高評価を得ることができた。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

全市共通の質問項目については、全体的に市の平均を下回っており、教職員と生徒が、学校の改善に向けてともに熱心に取り組まなければならない。

今後も、肯定的評価が下がった点や指標に達していない点について、教職員でその理由を検討するとともに、保護者や地域住民から率直な意見を聞く機会を多く取り入れ、次年度の具体的な取組に反映させていこうと考えている。特に、教職員と保護者・生徒との肯定的評価に差がある箇所を十分に検討し、そのギャップが少しでも知織めていくように全教職員でそのための具体策を考えて実行していききたい。

さらに、小中一貫教育の先進校として、「自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成 ～ キャリア教育（生き方）を核として ～」という研究テーマに迫るためにも、清原地域学校園の各小学校とも十分に連絡調整を図りながら、さらに地域に開かれた学校づくりに努めていきたい。